

あの流れる雲に

ふと見上げた 夏の空から
この心 自由に懂れて
流れる雲に委ねる

まるで橋のように 空を流れ行き
ここから見える 遠くの山
だんだん小さくなって溶けゆく

届きそうで届かない
静かに浮かんでいるように見えても
よく見ると輪郭を変えながら
素早い速さで動いている

空の向こうへあの流れる雲に
ゆっくりと旅したいこと願っても
簡単でないことを
さとらせてくれる

ふと見上げた 夏の空から
この想い 届くように
言えなかったことも雲に委ねる

まるで綿のように 空を流れゆき
柔らかな陽射し浴びて
揺らぐ輪郭を指でなぞる

この指先のかすかな温もりが
浮かぶ雲に伝わること感じる
よく見ると青空に吸い込まれながら
絶え間なく消えてゆく

空の向こうへあの流れる雲に
こっそりこの願い託したならば
この騒ぐ胸の中
きっと届けてくれる